

# 令和7年度 北都中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：34008

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<p>◇札幌市の共通指標アンケートの「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」の肯定的な回答が85.2%と多くの生徒が、自分の目標に対して努力しようとしている姿勢が見られる。</p> <p>◇学校評価アンケートで「授業で、友達の意見を聞いたり、自分の考えを発表することで、考えを深めることができています」の肯定的な回答が90.0%となっており、発表することによって学びを深めている様子が分かる。</p>	<p>◇共通指標アンケートの「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」の肯定的な回答が65.4%となっていることから、計画的な家庭学習の取組や習慣がついていない生徒が多いことが分かる。</p> <p>◇同様に全国学力・学習状況調査の生徒質問の結果から、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか」「休みの日に、1日当たりどのくらい勉強しますか」では「1時間より少ない」「全くしない」という回答が多かった。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇共通指標アンケートの「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」の肯定的な回答が92.9%と多いことから、話し合いの場面や協力して活動する意識は高まってきている。</p> <p>◇生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の結果から、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」では肯定的な回答の割合が多くなっている。引き続き、生徒の成長に資するより良い「授業」「学校」づくりに積極的に教職員が関わっていくことが重要と考える。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 研究主題 「自ら学び、そうぞう(想像・創造)する」

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<p>◇生徒の目指す姿「学びに向かう自立した生徒」 →「自ら学びに向かう生徒を育てる授業」を構築する【A】 (子どもが課題を自分ごととして捉えられる授業構築) →「課題探究的な学習」の結果を分析したうえで、授業を展開【A】 (子どもが「学びのコントローラー」をもち、自ら学びを進める授業づくり) →「主体的に取り組む、学んだ力を活かす生徒」の視点を位置づけ、研修会などで振り返る。【R】(子どもが充実・学び・成長を実感する振り返り、教職員が評価と授業について振り返り)</p> 	<p>◇生徒も教職員も「心身ともに健康」「創造的な取組(前向き)」 →学校全体の Well-being の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい授業づくり…研究授業や授業・評価交流 ※教務部、研究部</li> <li>・よりよい学級づくり…学級経営案交流など研修会の充実 ※生徒指導部</li> <li>・よりよい学校づくり…行事(陸上競技大会、文化祭、校区内清掃)の充実、部活動、施設等環境の充実 ※生徒会部、保健部、管理部</li> <li>・よりよい地域づくり…小中一貫した教育、CSを通じた地域への発信の推進、ICTの充実(ClassroomやHP、すぐー等の活用、充実) ※管理職</li> </ul>

### 〈本プログラムの実行に向けて〉

